

【各種意向調査結果の総括】

1 回答者の属性

(1) 世代別

全回答者の世代別年齢で最も多かったのは、「40歳以上」29.8%、次いで「30歳代」27.6%、「70歳以上」16.6%であった。各調査別にみると、地域住民は50歳以上、小・中学校保護者は30～50歳代、保育所・幼稚園保護者は20歳～40歳代の回答者が多いものであった。

上段:実数 下段:構成比(%)	調査数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
地域住民	508 100.0	3 0.6	28 5.5	9 1.8	32 6.3	73 14.4	152 29.9	208 40.9	3 0.6
小中学校保護者	543 100.0	1 0.2	9 1.7	199 36.6	299 55.1	27 5.0	4 0.7	-	4 0.7
保育所幼稚園保護者	199 100.0	-	18 9.0	137 68.8	41 20.6	2 1.0	-	-	1 0.5
全体	1250 100.0	4 0.3	55 4.4	345 27.6	372 29.8	102 8.2	156 12.5	208 16.6	8 0.6

(2) 居住する小学校区

全回答者の居住する小学校区で最も多かったのは、「山下小学校区」36.6%、次いで「坂元小学校区」24.3%、「山下第二小学校区」20.5%であった。

	調査数	山下小学校	山下第一小学校	山下第二小学校	坂元小学校	無回答
地域住民	508 100.0	160 31.5	82 16.1	108 21.3	142 28.0	16 3.1
小中学校保護者	543 100.0	209 38.5	91 16.8	104 19.2	126 23.2	13 2.4
保育所幼稚園保護者	199 100.0	88 44.2	29 14.6	44 22.1	36 18.1	2 1.0
全体	1250 100.0	457 36.6	202 16.2	256 20.5	304 24.3	31 2.5

2

学校の存在意義と学校の教育環境に期待するもの

(1) あなたにとって学校とは（複数回答）【問 4】

全回答者に対して「あなたにとって学校とはどのようなものですか？」という問いで最も多かったのは、「学校は昔も将来においても子どもための教育の場…」1029票（82.3%）、次いで「自分が卒業した学び舎で思い出深い…」515票（41.2%）、「学校は地域行事やコミュニティの中心…」372票（29.8%）であった。各調査別にみても、8割以上が「学校とは子どもたちのためのもの」との思いにて回答していることから全体的に同じ傾向であった。

	調査数	自分が卒業した学び舎であり、思い出が深く大切な場所である	自分になったので、特に思い入れはない	学校は昔も将来においても、子どもたちのための教育の場である	学校は地域にとつての心の拠り所である	学校は地域行事やコミュニティの中心となる場所である	学校は災害時の大事な避難場所である	あまり関心はない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	223 43.9	12 2.4	409 80.5	93 18.3	140 27.6	146 28.7	15 3.0	15 3.0	6 1.2
小中学校保護者	543 100.0	211 38.9	8 1.5	447 82.3	56 10.3	166 30.6	152 28.0	19 3.5	7 1.3	3 0.6
保育所幼稚園保護者	199 100.0	81 40.7	5 2.5	173 86.9	20 10.1	66 33.2	43 21.6	3 1.5	7 3.5	2 1.0
全体	1250 100.0	515 41.2	25 2.0	1029 82.3	169 13.5	372 29.8	341 27.3	37 3.0	29 2.3	11 0.9

(2) 小学校の教育環境に期待すること（複数回答）【問 5-①】

小学校の教育環境に期待することで最も多かったのは、「社会のマナーやルール、道徳心が身につく…」742票（59.4%）、次いで「多くの子どもたちの中で友情を育む…」529票（42.3%）、「地震や災害から生命を守る安全な校舎…」404票（32.3%）であった。このことから、全体的に期待する小学校の教育環境とは、多くの子どもたちの中で友情を育みながら、社会性や道徳心を身に付けられる環境と捉えられる。

	調査数	地震や災害から生命を守る校舎などの安全な環境	教育を行う上で充実した施設や設備、教具などの環境	指導力や熱意を持った教職員のいる環境	社会のマナーやルール、道徳心が身につけられる環境	自然や地域社会とふれあい・交流のできる環境	地域の歴史や伝統文化にふれあえる環境	多くの子どもたちの中で、広く友情を育むことができる環境	少ない人数で子ども同士が密に友情を深められる環境	子どもたちが切磋琢磨し、向上心や主体性を身に付ける環境	一人ひとりの能力に応じて教育ができる環境
地域住民	508 100.0	160 31.5	152 29.9	180 35.4	282 55.5	109 21.5	60 11.8	199 39.2	66 13.0	98 19.3	67 13.2
小中学校保護者	543 100.0	182 33.5	143 26.3	158 29.1	335 61.7	92 16.9	51 9.4	235 43.3	61 11.2	140 25.8	79 14.5
保育所幼稚園保護者	199 100.0	62 31.2	60 30.2	53 26.6	125 62.8	43 21.6	6 3.0	95 47.7	21 10.6	62 31.2	33 16.6
全体	1250 100.0	404 32.3	355 28.4	391 31.3	742 59.4	244 19.5	117 9.4	529 42.3	148 11.8	300 24.0	179 14.3

進学や受験、将来の進路に向けて教育ができる環境	英語などの国際語学等が身につけられる環境	音楽や美術など、芸術面にふれあいに身につけられる環境	様々なスポーツを体験し体力や能力の向上が図られる環境	パソコン等の情報処理技術など、先端技術を身につけられる環境	その他	無回答	
10 2.0	14 2.8	10 2.0	27 5.3	8 1.6	2 0.4	24 4.7	地域住民
8 1.5	15 2.8	9 1.7	27 5.0	5 0.9	3 0.6	25 4.6	小中学校保護者
1 0.5	7 3.5	5 2.5	12 6.0	-	-	2 1.0	保育所幼稚園保護者
19 1.5	36 2.9	24 1.9	66 5.3	13 1.0	5 0.4	51 4.1	全体

(3) 中学校の教育環境に期待すること（複数回答）【問5-②】

中学校の教育環境に期待することで最も多かったのは、「進学や受験、将来の進路に向けた教育…」600票（48.0%）、次いで「子どもたちが切磋琢磨し…」437票（35.0%）、「指導力や熱意を持った教職員のいる…」423票（33.8%）、であった。

このことから、全体的に期待する中学校の教育環境とは、指導力ある教育現場のもと、進学・受験などの将来に向けて子どもたち同士が切磋琢磨し、勉学やスポーツに主体的に励んでいける環境と捉えられる。

調査数	地震や災害から生命を守る校舎などの安全な環境	教育を行う上で充実した施設や設備、教具などの環境	指導力や熱意を持った教職員のいる環境	社会のマナーやルール、道徳心が身につけられる環境	自然や地域社会とふれあい・交流できる環境	地域の歴史や伝統文化にふれあえる環境	多くの子どもたちが、広く友情を育むことができる環境	少ない人数で子どもたち同士が密に友情を深められる環境	子どもたちが切磋琢磨し、向上心や主体性を身につけられる環境	一人ひとりの能力に応じて教育ができる環境
地域住民 508 100.0	92 18.1	97 19.1	164 32.3	145 28.5	31 6.1	43 8.5	85 16.7	18 3.5	160 31.5	75 14.8
小中学校保護者 543 100.0	117 21.5	108 19.9	199 36.6	172 31.7	22 4.1	24 4.4	131 24.1	24 4.4	192 35.4	80 14.7
保育所幼稚園保護者 199 100.0	41 20.6	41 20.6	60 30.2	65 32.7	5 2.5	4 2.0	45 22.6	2 1.0	85 42.7	31 15.6
全体 1250 100.0	250 20.0	246 19.7	423 33.8	382 30.6	58 4.6	71 5.7	261 20.9	44 3.5	437 35.0	186 14.9

て進学や受験、将来の進路に向けて教育ができる環境	けられる環境 英語などの国際語学等が身につけられる環境	あ音楽や美術など、芸術面にふれ あ身につけられる環境	様々なスポーツを体験し体力や 能力の向上が図られる環境	環境 パソコン等の情報処理技術など、先端技術を身につけられる	その他	無回答	
228 44.9	70 13.8	14 2.8	113 22.2	99 19.5	4 0.8	26 5.1	地域住民
264 48.6	53 9.8	10 1.8	115 21.2	60 11.0	3 0.6	15 2.8	小中学校保護者
108 54.3	23 11.6	4 2.0	47 23.6	18 9.0	-	4 2.0	保育所幼稚園保護者
600 48.0	146 11.7	28 2.2	275 22.0	177 14.2	7 0.6	45 3.6	全体

3 望ましい学校規模

(1) 望ましいと考える小学校1学年あたりのクラス数【問6-①】

望ましいと考える小学校1学年あたりのクラス数で最も多かったのは、「2クラス程度」58.5%、次いで、「1クラス程度」15.9%であった。

各調査別にみても、5割以上が「2クラス程度」と回答し全体的に同じ傾向であり、全回答者の半数以上が最低限クラス編成可能な規模を望んでいることが伺える。

	調査数	で1学年あたり1クラス程度 （全学年）	で1学年あたり2クラス程度 （全学年）	で1学年あたり3クラス程度 （全学年）	わからない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	95 18.7	270 53.1	68 13.4	45 8.9	14 2.8	16 3.1
小中学校保護者	543 100.0	78 14.4	326 60.0	78 14.4	35 6.4	8 1.5	18 3.3
保育所幼稚園保護者	199 100.0	26 13.1	135 67.8	21 10.6	13 6.5	1 0.5	3 1.5
全体	1250 100.0	199 15.9	731 58.5	167 13.4	93 7.4	23 1.8	37 3.0

(2) 望ましいと考える小学校1クラスあたりの児童数【問6-②】

望ましいと考える小学校1クラスあたりの児童数で最も多かったのは、「21～30人程度」50.6%、次いで「11～20人程度」36.7%であった。

各調査別にみても、5割近くが「21～30人程度」と回答し全体的に同じ傾向である。

	調査数	1クラスあたり1～10人程度	11～20人程度	21～30人程度	31人以上	わからない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	16 3.1	193 38.0	236 46.5	19 3.7	28 5.5	5 1.0	11 2.2
小中学校保護者	543 100.0	10 1.8	192 35.4	288 53.0	20 3.7	17 3.1	2 0.4	14 2.6
保育所幼稚園保護者	199 100.0	4 2.0	74 37.2	108 54.3	3 1.5	8 4.0	1 0.5	1 0.5
全体	1250 100.0	30 2.4	459 36.7	632 50.6	42 3.4	53 4.2	8 0.6	26 2.1

(3) 望ましいと考える中学校1学年あたりのクラス数【問7-①】

望ましいと考える中学校1学年あたりのクラス数で最も多かったのは、「3クラス程度」44.5%、次いで「2クラス程度」37.0%であった。

各調査別にみると、「地域住民」が「2クラス程度」38.6%としたものの、「小・中学校保護者」及び「保育所・幼稚園保護者」においては、6割以上が「3クラス程度」の規模を望んでいるものであった。

	調査数	1～2学年あたり1クラス（全年）	3～5学年あたり2クラス（全年）	6～9学年あたり3クラス（全年）	わからない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	69 13.6	196 38.6	173 34.1	45 8.9	9 1.8	16 3.1
小中学校保護者	543 100.0	21 3.9	194 35.7	278 51.2	34 6.3	8 1.5	8 1.5
保育所幼稚園保護者	199 100.0	9 4.5	72 36.2	105 52.8	7 3.5	1 0.5	5 2.5
全体	1250 100.0	99 7.9	462 37.0	556 44.5	86 6.9	18 1.4	29 2.3

(4) 望ましいと考える中学校 1 クラスあたりの生徒数【問 7-②】

望ましいと考える中学校 1 クラスあたりの生徒数で最も多いのは、「21～30 人程度」62.1%、次いで「11～20 人程度」24.1%であった。

回答者の 6 割以上が 1 クラスあたり「21～30 人程度」と、1 クラスの人数に関しては小学校と同じ程度のクラス人数を望んでいることが伺える。

	調査数	1 クラスあたり 1 ～ 10 人程度	1 クラスあたり 11 ～ 20 人程度	1 クラスあたり 21 ～ 30 人程度	1 クラスあたり 31 人以上	わからない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	8 1.6	136 26.8	285 56.1	38 7.5	26 5.1	3 0.6	12 2.4
小中学校保護者	543 100.0	6 1.1	116 21.4	365 67.2	29 5.3	18 3.3	2 0.4	7 1.3
保育所幼稚園保護者	199 100.0	2 1.0	49 24.6	126 63.3	12 6.0	6 3.0	1 0.5	3 1.5
全体	1250 100.0	16 1.3	301 24.1	776 62.1	79 6.3	50 4.0	6 0.5	22 1.8

(5) 複式学級の編成について【問 8】

複式学級編成の可能性が出てきた場合についてどう考えるかの問いで最も多かったのは、「…複式学級は避けたほうが良い」42.3%、次いで「…複式学級はやむを得ない」27.6%、「複式学級のメリットもある…問題はない」13.6%であった。

各調査別にみても、4 割以上が「…複式学級は避けたほうが良い」と回答し、全体的に同じ傾向である。

	調査数	児童数が少なく、複式学級はやるのは仕方ない	児童が良いため、複式学級は避けられない	複式学級のメリットもあると思	複式学級があっても無くてもど	わからない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	138 27.2	205 40.4	83 16.3	22 4.3	40 7.9	7 1.4	13 2.6
小中学校保護者	543 100.0	150 27.6	236 43.5	71 13.1	36 6.6	43 7.9	4 0.7	3 0.6
保育所幼稚園保護者	199 100.0	57 28.6	88 44.2	16 8.0	15 7.5	16 8.0	6 3.0	1 0.5
全体	1250 100.0	345 27.6	529 42.3	170 13.6	73 5.8	99 7.9	17 1.4	17 1.4

4 学校再編検討の必要性について

(1) これからの山元町小・中学校再編検討の必要について【問 9】

今後の山元町教育環境を考えるうえで、「山元町小・中学校再編検討の必要性」について最も多かったのは、「H25年の整備方針にある通りに再編を検討…」22.1%、次いで「H25年の整備方針を見直し再編を検討…」20.3%、「まずは中学校を優先して再編…」19.2%であった。

上記回答結果は、2ポイント差の中に入っていることから、ほぼ同数に近い結果であった。

また、「まずは小学校を優先して再編…」の結果を含めると、全回答者の7割以上が、「今後、何らかの形で学校再編に向けて検討していく必要がある」と考えていることが伺える。

各調査別に最も多い回答をみると、「地域住民」は「H25年の整備方針を見直し再編を検討…」23.43%、「小・中学校保護者」は「まずは中学校を優先して再編を検討…」25.2%、「保育所・幼稚園保護者」は「H25年の整備方針にある通りに再編を検討…」25.1%と分かれたものである。

	調査数	H25年の整備方針にある通りに再編を検討していくべき	H25年の整備方針を見直し、小学校と中学校の再編を検討していくべき	まずは小学校を優先して再編を検討していくべき	まずは中学校を優先して再編を検討していくべき	まだ学校再編を検討する段階ではない	学校再編を検討する必要はない	行政にまかせる	わからない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	98 19.3	119 23.4	51 10.0	65 12.8	30 5.9	14 2.8	67 13.2	45 8.9	6 1.2	13 2.6
小中学校保護者	543 100.0	128 23.6	94 17.3	34 6.3	137 25.2	23 4.2	26 4.8	42 7.7	53 9.8	4 0.7	2 0.4
保育所幼稚園保護者	199 100.0	50 25.1	41 20.6	24 12.1	38 19.1	5 2.5	2 1.0	13 6.5	20 10.1	5 2.5	1 0.5
全体	1250 100.0	276 22.1	254 20.3	109 8.7	240 19.2	58 4.6	42 3.4	122 9.8	118 9.4	15 1.2	16 1.3
		「今後、何らかの形で学校再編に向けて検討していく必要がある」とした回答									

(2) 再編を検討していく際に重要と考えること（複数回答）【問 10】

「今後、何らかの形で学校再編に向けて検討していく必要がある」とした全回答者 879 名について、再編を検討していく際に重要と考えることは何かを確認した。

その中で最も多かったのは、「通学手段について子どもたちが負担にならないよう配慮…」536 票 (61.0%)、次いで「子どもたちに不安や戸惑いが出ないよう配慮…」444 票 (50.5%)、「児童・生徒数や教員数のバランスの取れた…」374 票 (42.5%)、であった。

このことから、全回答者の6割以上が通学手段において子どもたちに負担が出ないことを望んでいることが伺える。

	調査数	子どもたちが不安や戸惑いが出ないよう配慮すること	地域との関係に配慮し、密な説明会対応など丁寧な対応を図ること	児童・生徒数や教員数のバランスの取れた学校規模や学区編成に配慮すること	通学手段について子どもたちが負担にならないよう配慮すること	町の財政面を考慮した再編を検討すること	その他	無回答
地域住民	333 100.0	141 42.3	87 26.1	142 42.6	199 59.8	18 5.4	2 0.6	7 2.1
小中学校保護者	393 100.0	213 54.2	44 11.2	167 42.5	249 63.4	11 2.8	10 2.5	10 2.5
保育所幼稚園保護者	153 100.0	90 58.8	32 20.9	65 42.5	88 57.5	6 3.9	2 1.3	3 2.0
全体	879 100.0	444 50.5	163 18.5	374 42.5	536 61.0	35 4.0	14 1.6	20 2.3

(3) 再編を検討する段階ではない・必要ないとした理由【問 11】

「再編を検討する段階ではない」「再編を検討する必要はない」とした全回答者 100 名について、その理由を確認した。

その中で最も多かったのは、「子どもたちが通学や防犯上、大変になるから…」37.0%、次いで「学校の小規模化・少人数教育は良いこと…」20.0%、「地域のより所がなくなる…」16.0%であった。

このことから、「再編の検討段階でない・必要ない」とする回答者についても、「子どもたちの通学」を一番に考慮した回答であったことが伺える。

	調査数	具体的に遅く問題が出てきてから対処しても遅くないと考えるから	学校の小規模化・少人数教育にとっただから	地域のより所である学校がなくなる	自分が卒業した学校がなくなるのは寂しいから	子どもたちが通学や防犯上、大変になるだろうから	わからない	その他	無回答
地域住民	44 100.0	9 20.5	11 25.0	5 11.4	2 4.5	12 27.3	1 2.3	3 6.8	1 2.3
小中学校保護者	49 100.0	6 12.2	7 14.3	10 20.4	1 2.0	21 42.9	1 2.0	2 4.1	1 2.0
保育所幼稚園保護者	7 100.0	-	2 28.6	1 14.3	-	4 57.1	-	-	-
全体	100 100.0	15 15.0	20 20.0	16 16.0	3 3.0	37 37.0	2 2.0	5 5.0	2 2.0

山元町小・中学校再編にかかる意向調査

【各種意向調査総括】

平成30年3月

山元町教育委員会

目 次

【各種意向調査総括】

ここでは、「小・中学校再編の検討」にかかる以下の設問項目について、「地域住民意向調査」「小・中学校保護者意向調査」「保育所・幼稚園保護者意向調査」の各調査から全体値を算出し、その傾向を総括として整理する。

1	回答者の属性	
(1)	世代別	1
(2)	居住する小学校区	1
2	学校の存在意義と学校の教育環境に期待するもの	
(1)	あなたにとって学校とは（複数回答）	2
(2)	小学校の教育環境に期待すること（複数回答）	2
(3)	中学校の教育環境に期待すること（複数回答）	3
3	望ましい学校規模	
(1)	望ましいと考える小学校1学年あたりのクラス数	4
(2)	望ましいと考える小学校1クラスあたりの児童数	5
(3)	望ましいと考える中学校1学年あたりのクラス数	5
(4)	望ましいと考える中学校1クラスあたりの生徒数	6
(5)	複式学級の編成について	6
4	学校再編検討の必要性について	
(1)	これからの山元小・中学校再編検討の必要性について	7
(2)	再編を検討していく際に重要と考えること（複数回答）	7
(3)	再編を検討する段階ではない・必要としない理由	8